令和５年度　NO.９　R6.１

幼児教育センターだより

富山県教育委員会小中学校課

「**た**のしいことたくさん　**つ**ぎのひがまちどおしい　**ど**んなときも　**し**あわせえがお」そんな子どもたちの笑顔を思い浮かべながら、２０２４年も、みなさんと一緒に歩みたいと考えています。本年もよろしくお願いします。

第２回幼児教育・小学校教育接続推進事業　モデル校区担当者会議

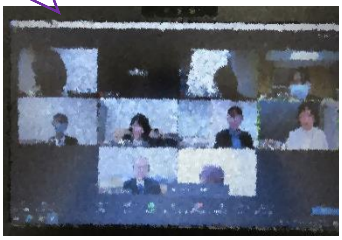
【日　時】令和５年 12 月 12 日（火）15:30～16:30　オンライン

【参加者】令和５年度幼児教育・小学校教育接続推進事業モデル校区小学校、幼児教育施設担当者

【内　容】これまでの取組概要と今後の予定説明、質疑応答
情報交換①（小学校グループ、幼児教育施設グループに分かれて）
情報交換②（モデル校区ごとのグループで）

＜情報交換より＞

- 低学年担任の負担にならないように学校全体で取り組みたい。
- モデル校区で作成したスタートカリキュラムを、市内で共有できるとよい。
- 校内では、教員の意識改革、幼児理解を中心に行っている。
- 交流や情報交換、合同研修会は１回ではなく、継続して行っていく必要がある。
- １校と複数園との連携の様子を聞けてよかった。園同士のつながりも大切にしたい。
- 入学前に幼児が授業を受けてみるのもよいのではないか。保育園では一人に一台の机はない。環境の違いを入学前に味わうのもよい経験になる。



＜アンケートより＞

- 校区内の園にたくさんご協力いただいた。それぞれに今回の取組のよさを感じていただけたことや、今後も顔が見える交流を続けていきたいと思っていただけたことが、何よりの成果だと思う。
- 小学校の先生方と研修を何度も行うことができ、保育園の子どもの話、卒園した子どもの話等、たくさん話ができたことがよかった。接続カリキュラムを作ることができ、今後もこのつながりを継続していくことを確認できてよかった。

幼児教育関係の研修に係るワーキンググループ

【日　時】令和５年 12 月２６日（火）１０：００～１１：００
【参加者】幼児教育団体研修担当者、県関係課担当者
【内　容】幼児教育関係団体等の研修についての情報交換

人手不足で研修会に派遣することが難しい。

研修会に人が集まらない。

大切な内容の研修会は外せない。

研修会が多すぎる。

－研修会についての課題等－

〇県外からの講師を一日派遣依頼し、午前午後で別団体の研修会に出てもらう。
〇研修会を共催する。
〇オンラインを活用する。

－課題に対する現在の取組－

今後、横のつながり強化へ

幼児教育施設訪問研修からの学びを語る会

【日　時】令和５年 12 月 18 日（月）14:30～16:30　オンライン
【参加者】幼児教育施設や小学校、市町村幼児教育担当者の希望者
【内　容】幼児教育推進リーダーⅠ期生による座談会
座談会１　訪問研修を受けた園・所として
座談会２　リーダーとして訪問しての学び（「主体的」という窓から）

話を聞きながら「自分ならどう保育をするだろうか」と振り返ることができた。今後の保育に生かしたい。（保育者感想）

小学校でも大切にしていることを幼児教育でも大切にしていることが分かった。学校の近くの保育所に足を運んでみたい。
（小学校教員感想）

リーフレット等紹介

①配布時期
②テーマ
③対象

富山県幼児教育センターでは、右の３つを刊行しています。幼小接続のヒントとして、あるいは、就学時健診等での、年長児の保護者を対象としたお話の中でなど、ご活用ください。

①令和５年４月
②幼小接続モデル校区取組紹介
③小学校、幼児教育施設

①毎年９月
②幼児期の教育から小学校教育へ
③年長児保護者、小学校、幼児教育施設

①令和５年２月
②円滑な幼小接続を目指して
③小学校、幼児教育施設